

令和2年6月30日

各高等学校長 様
各特別支援学校長 様
関係各位

北海道高等学校世界史研究会
会長 橋本達也
(北海道科学大学高等学校長)

公印
省略

第51回北海道高等学校世界史研究大会の開催について（お知らせ）

初夏の候、皆様には益々ご健勝のことと存じます。日頃から当研究会の活動に対し、格別のご高配ご支援を頂き深く感謝致しております。

このたび、第51回世界史研究大会を下記の要領にて開催致します。つきましては、関係の先生方・各位の研究会へのご出席につきまして、ご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 日 時 令和2年8月22日（土） 13:00～16:30
2. 会 場 コロナウイルス対策のため、オンライン（Zoom）での開催となります。
3. 主 催 北海道高等学校世界史研究会
4. 後 援 高大連携歴史教育研究会・北海道教育委員会・札幌市教育委員会・北海道高等学校長協会（予定）
5. 日 程 8月22日（土）
13:00～13:15 開会式
13:20～14:50 パネルディスカッション
15:00～15:20 質疑応答
15:30～16:30 研究協議（座談会・質疑を参考にテーマを設定して協議を行う）
16:30～16:40 総会
6. 参加費 無料（人数制限あり 事前の申し込み必要）
*北海道の教員150名、道外からの参加者150名とさせていただきます。
7. 主 題 「生徒とともに語る世界史へ」
8. 目 的 ・高大接続改革や「歴史総合」「世界史探究」等、歴史教育の転換点を迎えるに際して、「教員」と「生徒」が「歴史をいかに語る」べきかについての知見を深める。
・北海道内のみならず全国の歴史教育関係者と意見を交換することで、これからの時代に求められる歴史教育像を明らかにしていく。

9. パネルディスカッション

- テーマ : 「『〈世界史〉をいかに語るか』その後
-世界パンデミックの現状をどう将来の歴史教科書に記述するか-」
- 基調報告 : 長谷川貴彦 氏 (北海道大学教授) 「疫病の時代を生きる」
- パネリスト : 成田 龍一 氏 (日本女子大学教授)
小川 幸司 氏 (長野県蘇南高等学校長)
- 司会 : 吉嶺 茂樹 氏 (北海道有朋高等学校)

10. 研究協議 進行 : 北海道有朋高等学校 教諭 吉 嶺 茂 樹 氏

11. 申し込み <https://forms.gle/2p78FSSVBghgjJYTA> より各自でお申し込みください。なお、北海道高等学校世界史研究会 HP (<https://hokkaido-sekaishiken.org/>) からリンクされています。

*北海道スクールネットの通常回線だと、フィルタにかかってしまいます。制限のない回線ないしは、スマートフォン等でお申し込み下さい。

【申し込みフォーム】



【世界史研究会 HP】



12. その他

(1) 問い合わせ先

北海道札幌北陵高等学校 本間 靖章

〒002-0857 北海道札幌市北区屯田 7 条 8 丁目 5-1

電話 011-772-3051 / FAX 011-772-3052

E-mail sekaishiken@gmail.com または yasu_volleyball@hokkaido-c.ed.jp

(2) 研究大会への申し込みは 8月17日(月) までとさせていただきます。なお、定員を満した場合には、その時点で受付を締め切らせていただきますので、ご了承ください。お申込みいただいた方には、前日までにログイン ID を発行させていただきます。

【パネリスト紹介】

『思想』2018年第3号および『〈世界史〉をいかに語るか』(岩波書店)

鼎談「「世界史」をどう語るか」より

書籍 URL:<https://www.iwanami.co.jp/book/b496849.html>

長谷川貴彦先生 イギリス近現代史とりわけ福祉国家の形成やグローバルヒストリーにおける産業革命を研究主題とし、『現代歴史学への展望』等多数の著作で歴史学の言論的転回や物語論的転回に代表される現代歴史学の動向に対しても積極的に発信されている。

成田 龍一先生 近現代日本史を専攻。事実の解釈と語り(ナラティブ)としての歴史学を焦点とし、『歴史学のナラティブ 民衆史研究とその周辺』『「戦後」はいかに語られるか』等により日本歴史学の歴史に対して精力的に発信をされている。

小川 幸司先生 長野県内の高校教諭を歴任された後、長野県教育委員会を経て現職となる。『世界史との対話』や「問いをともに考える」世界史へ」等で、歴史の授業における教員と生徒双方の「語り」について数々の発信をされている。

*今回のパネルディスカッションでは、上記書籍の論考を下敷きに議論を進めます。まだお読みでない方はこの機会に是非お読みください。なお、上記 URL で試し読みをすることも可能です。